

# まちづくり ニュース



ホームページ

<http://www.geocities.co.jp/HeartLand-Icho/3732/>



161号  
2014年9月14日

常盤台の景観を守る会  
常盤台まちづくり委員会

事務局 tel・fax 3960 - 3869

協力金振込先 郵便局00110-3-739728 ときわ台の景観を守る会

## ○ 中央図書館は建替え？移転？

常盤台公園に位置する中央図書館は、建物や機能の老朽化による建て替えが取り沙汰されています。現場での中央図書館としての機能を入れ込んでの建替えは、面積的に不可能(現図書館は公園に対しての割合が規定よりオーバーしている)です。

景観を守る会として、図書館長や板橋区の政策企画課長さんにお目にかかり、どの様な方針なのかをお聞きしましたが、その場では(何時もの様に?)ハッキリした回答を聞く事は出来ませんでした。建替え、移転かもハッキリしませんでした。

では住民は、どう考えているのかを区に提言しようとするワークショップを2度開催しました。常盤台地区以外の方も集まり、活発な意見が聞かれました。

概ねの意見としては、中央図書館の移転はやむをえない、但し今の位置の図書館は残して欲しいとなりました。でも皆さんは、図書館長から直に方針、考えを聞きたい意向なので、図書館長か誰かをワークショップの場へぜひお招きしたいと思い、申し入れをしました。

今回、館長さんからワークショップの皆さんからの質問に答える形で現在の状況を説明しても良いとの回答を得ましたので、10月上旬に機会を設けたいと思っています。

図書館の件、このニュースを読んで初めてお知りになった方もいるのでは？是非ご意見をお聞かせ下さい。後の祭りにならないように！

また、ワークショップに参加して、今後の図書館の方向性を見極めませんか？

## ○ 東武東上線100年記念展

9月18日(木)～9月30日(火)

10時～17時

休館=21日(土)午後・定休日の24日(水)

なお、最終日は15時まで

於 「ギャラリー服部ときわ台」

主催 常盤台の景観を守る会  
常盤台まちづくり委員会

資料提供 東武博物館

入場料 100円(高校生以下・70歳以上無料)

### お願い

上記東上線開通100年展に伴ってのお願いです。

東上線(特に池袋～ときわ台)の駅舎や車両などに関して、何か写っている古い写真がありましたら、お借りするかコピーさせていただきませんか。よろしくお願い致します。

連絡先 「ギャラリー服部ときわ台」

TEL 03-5015-2210

## ○ 常盤台、板橋区の景観形成重点地区となる

— 景観法に基づく建築等のありかた —

9月上旬、板橋区からの薄緑色のお知らせが常盤台各戸に投函されました。景観形成重点地区となると、建築行為すべてについて、新しい基準にあてはまるか否か、区の景観担当と協議する必要があります。

それに続いて久しぶりに肌色の「しゃれ街ニュース」が配られました。NPO法人しゃれ街協議会としてのお知らせが載っています。

## 猫激減の理由

高島平のあるコンビニの店長が、猫を捕まえては一匹一万円で東北の研究施設に売っていたと言う話です。常盤台でも飼っている猫も野良猫もいっせいに減ってしまったので、ネズミが跳梁して困るという投稿がありました。去年の暮れごろと言う高島平の話と時期が合うようです。

野良猫とは言え、生態系の食物連鎖の中で、人間の役に立っていることがあり、改めて人間にとってその生き物が価値あるか否かは、性急に判断できないのではないのでしょうか。

また、野良猫を極端に嫌う人のしわざか、食べ物に毒を混ぜたらしく、何匹も死んだニュースもありました。地域猫として可愛がっていく運動とは真逆の嫌な事件でした。

## ひとり食の改善

年を取ると今までこなしてきた家事も億劫になり、食事をワタミなどで宅配してもらう人が増えているようです。おかずが何種類もあつて栄養不足にはならないようですが、段々飽きてしまい、食欲がわかないという嘆きも聞きます。

しかし、食事をしっかりと摂らないと老化も進むし、病気にかかりやすくなります。

ご近所と同じような悩みの人がいいたら、何人か時々食事を一緒にしてはどうでしょうか。一週間に一度でも、昼食でも夕食でも一緒に食べてもらうと、献立を考えたり、おしゃべりしたり、楽しみが増えると思います。時には連れ立ってレストランや蕎麦屋に行くのもよし、ひとりで食べるよりずっと健康に良いでしょう。

## タクシー運転手の話

先日、常盤台駅前から個人タクシーに乗った時の話です。運転手さんは前野町にあったタクシー会社に十五年勤めたあと、個人タクシーに転じたそうで、常盤台の街はかなり昔から良く知っているのだそうです。その人が、最近の常盤台では、建売住宅まで現れましたよ！と話し始めたのは、一丁目の五〇㎡の細分化で問題になった場所です。オープンハウスが直ぐに違法となるのを承知で、五〇㎡の建売住宅を八棟売ろうとした所です。南向きの方はかろうじて二分割にしましたが、北側四棟は五〇㎡で売られてしまいました。オープンハウスはテレビでもコマーシャルが流れる一部上場会社ですが、タカラレーベル同様、常盤台の良好な住宅地としての格を下げた会社として、後世まで記憶に残るでしょう。運転手さんは常盤台の変化を嘆いていました。

さて、この話の先が問題です。ある議員は常盤台はもう壊れている、と言いました。板橋区が二〇数年前、地区計画から撤退した後、この街は決して良い方へ変わっていきませんでした。不動産会社も認めています。住宅地では土地の細分化、共同住宅化、商業地では高層化、マンション化、質の低下、などが進みました。

確かに壊れたかもしれません。だから自分も壊す側に立つ、のでしょうか。或いはこれ以上壊れないようにみんなで努力しよう側なのではないでしょうか。もう壊れていると言う人は、だからいくら努力しても無駄だよと言いたいのかも知れません。あなたはどちらに？

## 常盤台公園のはなづくり

駅前ロータリーは花づくりの会の守備範囲ではないのだけれど、夏の雑草とゴミがあまりにひどいというので、Tさんが二日ばかりで綺麗にしてみました。草花には時々銀行裏のYさんが水をやっているようです。大きな木の枝や山積みのゴミは翌日区の方で片付けてくれました。

ロータリーの清掃は、幾つかの宗教団体が早朝に行っているようですが、正確なところは誰も把握していません。

元々は何もなかったロータリーでしたが、常盤台小学校の一期生が記念にヒマラヤスギとケヤキを植えたのがあんなに育ったと言われています。

これほど緑の濃い駅前広場は、東上線ではほとんどなく、ときわ台駅に降り立つと、誰もがほっとすると言います。常盤台住民にとっては、公園・プロムナードなどと共に大事な景観であり、貴重な酸素の供給源です。

夏休み最後の日曜日、公園ではいつもの宗教団体に混じって、親子連れが捕虫網をふりまわしてセミを追いかけたり、落ち葉を拾って棒に挿したりしていました。夏休みの宿題を仕上げていたのでしょうか。

(花づくりの会の資金源として、東上線一〇〇年展の際、会場で、手作りマーマレードを売りますので、お買い上げください。)